

そりゃあ、
うちもソトも
どっちも大事
っしょ。
今年はどう
も！

ソーシャル・アントレプレナーシップ
を育むなら

リフレクション
(グループ対話) により
自己を探究する

「うち」を学ぶ

こんな人ばやってみよ
・地元コミュニティに関わる仕事に興味がある。
・地域が抱える問題解決に関わりたい。
・実践的な取り組みに参加したい。
・チームワークが好き。
こんな人ばやってみよ
・これからの時代「どう生きるか」悩む。
・悩みや弱みまで見せられる仲間が欲しい。
・就活や学生生活のアドバイスが欲しい。
・いろんな人と交流しフィードバックが欲しい。

「ソト」を学ぶ

地域コミュニティと
連携して社会のリアルな
課題解決にチャレンジする

学生募集中 
ソーシャル・アントレプレナーシッププログラム
2024

ソーシャル・アントレプレナーシッププログラムとは？

よりよい社会に向けて、能動的に動き、考動できるソーシャル・アントレプレナーシップ
(社会企業家精神&行動様式)を育成するプログラムです。

地域課題の解決に興味がある方や、実践的な取り組みに参加したい方、自分探しをしている
方は是非参加してください。

地域課題の解決に向けたグループワークや、多様な人とのリフレクション(振り返り)とい
った活動を通して、骨太な自分を育み、社会との関係を豊かなものにしていきましょう！

◆応募要項

実施期間 2024年6月末～11月末
(終了後も自発的に活動は継続できます！)

対 象 本学学部学生・大学院生
※1.2年次生の参加を優先します。

参 加 費 無 料
※現地までの交通費及び宿泊費を本学で負担します(上限あり)。食費などは自己負担。

定 員 30～40名
※定員を超える応募があった場合は、応募内容等に基づき選考を行います。

応募方法 QRより申し込み

募集締切 2024年5月31日(金) 6月7日まで
受け付けます！

協力団体 一般社団法人カンデ (地域とのパイプ役)
一般社団法人Work Design Lab (社会実装案の伴走)

◆注意事項

◎ 事前に以下の注意事項をよく理解した上で応募してください。

- ① 当プログラムは正課外活動となるため、成績評価・単位認定等はありません。
- ② フィールドワークの実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。
※活動地は千里山キャンパスやキンヤバス外となります。
- ③ 当プログラムでは、参加者自身が主語となる対話や発表の機会が多い点を予め認識してご参加ください。

◆問い合わせ先

関西大学社会連携部 地域連携センター

担当：増原、来馬

TEL 06-6368-1032 (平日9:00-17:00)

Mail: chiiki-mm@ml.kandai.jp

<https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/entry/entry077030.html>



プロジェクトコース概要

【目的】

自己の外的世界と内的世界を深耕し、タフで協働志向のソーシャル・アントレプレナーシップを育みます。

学部や学年の異なる学生がグループを構成し、要所要所で課題オーナー、社会人コーディネーター、学生メンター、教員メンターが活動に参画して、活動を豊かにしていきます。

実践を通じた学びを体験することで、よりよい社会に向けて自ら考動できる力を養い、外的世界を耕す力を育みます。リフレクションといったグループ対話を繰り返すことで、自己を探究して、自己の思いと社会とのつながりを深め、内的世界を耕す力を育みます。



実施内容と流れ

◆キックオフ・ミーティング
6/27 (木) 17時～20時
ガイダンス/チームビルディング

◆中間発表会
9/21 (土) 午後
取り組み内容の報告/ワーク

◆最終成果発表会
11/30 (土) 午後
最終報告会

6月末～11月末

◆地域の社会課題解決プロジェクトに実践的に取り組み、社会実装を目指す

グループ単位で現地フィールドワークを実施します。地域住民・企業等へのインタビューや現地アンケート調査を行いながら、社会実装案を企画し、実践を目指します。



◆リフレクションといったグループ対話手法を用いて、意欲を高めながら活動を継続する

毎週、リフレクションというグループ対話を行い、自己や活動内容を客観視して言語化する力を育み、目標に向かって邁進する意欲を高めます。
課題図書の読解を行って基礎スキルを養います。



◆全体での活動報告（中間発表会・最終成果発表会）を通して、活動や自分を客観視して言語化してまとめ、発表する

参加者を含めた本プログラムに関わる人全体で、活動報告としてグループ発表を行います。
全体での対話と交流で、よりよい化学反応がうまれることを目指します。

◇プロジェクト終了後も、自発的に地域や活動拠点に関わり続けることができます。

◇2025年5月中頃からエントリーを開始する、
地域連携センター＜地域で活動する若い力＞奨励賞で発表することもできます。

メンターについて

●皆さんの活動を見守り、相談にのってくれるメンターを各チームに配置します。
昨年本プログラムを経験した学生メンターや人生の先輩として教員メンターが活動を見守ってくれます。

〈教員メンター〉

責任者：横山 恵子（商学部）	小井川 広志（商学部）	深澤 光樹（商学部）	松下 慶太（社会学部）
山田 剛史（教育推進部）	岡 照二（商学部）	細見 正樹（商学部）	福田 公教（人間健康学部）
土居 潤子（経済学部）	沈 政郁（商学部）	杉本 英晴（社会学部）	

【実施場所】 関西大学千里山キャンパスほか
兵庫県丹波市、福井県大野市、
大阪府河内長野市、広島県府中市

【対象】 本部学部学生・大学院生

【定員】 30～40名
※複数の課題に応募（第3希望）することはできませんが、最終的に参加できるのは1つの課題のみです。

【メンバー】 学生10チーム
コーディネーター複数名

【活動内容】 ・現地フィールドワーク
・住民・自治体職員・企業へのインタビュー
・現地アンケート調査
・リフレクション（グループ対話）

【協力団体】 一般社団法人カンデ
一般社団法人Work Design Lab

【参加費】 無料
現地までの交通費及び宿泊費を本学で負担します（上限あり）。
食費などは自己負担。

おすすめポイント

- 大学を飛び出して、
現地でのリアルな体験を通してしか得られない学びがある！
- 地域でのまちづくりの現場の最前線に触れることができる！
- 地域やそれを支える産業を見つめ、
その課題や価値を見出す能力が身につく！
- 社会実装可能なレベルの提案を考え、
ブラッシュアップしていく過程を経験できる！
- 地域に深く関わることで、プロジェクト後も関わり続けられる
新たな故郷を得ることができる！
- リフレクションというグループ対話を行い、自己探究できる！
- 就活に役立つストーリーや武器を身につけることができる！



参加学生の声

○夢やこれからの展望について熱く語り合えて、とても有意義で楽しかった。
自分を見つめ直すきっかけとなった。

○自分にしっかりと向き合い、自分について他の人と話すことで、弱みや強みを
知ることができた。また、弱みだと思っていた部分もそれで良いんだと認める
ことができた。



○社会にある実際の課題に対して向き合うことは、これまでの人生で経験したことがな
かった、答えの無い課題に対して向き合うことだったので、それを経験できて良かった。
課題に対して行き詰まった時の考え方を学べたことが良かった。

○自分たちが実際に目の前にある生きる課題に触れながら、自分たちで何でも良いから
やってみることができた自由さと周りの大人の正解を求めていないスタンスが良かった。



【詳しい情報はこちら】

関西大学
ソーシャル・アントレプレナーシッププログラムウェブサイト
<https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/SEJumco/index.html>

